

東京都議会議員 石島ひでき

都議会
自民党レポート
Vol.2

- 昭和34年10月24日 日本橋生まれ日本橋育ち
- 区立東華小学校、区立日本橋中学校
都立上野高等学校を経て明治学院大学法学部卒業
- マンション管理士・賃貸不動産経営管理士
- 中央区議会議員7期（中央区議会議員2期）、東京都議会議員1期

東京都議会自由民主党
2022年4月号
〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1
☎03-5320-7210 FAX 03-5388-1781

希望ある未来を切り拓く

一般
会計

7兆8010億円 過去最大の予算が成立

（対前年度比 5.1%増）

感染症の脅威から都民の命と暮らしを守り、
「サステナブル・リカバリー」で
世界をリードする東京へ進化します

※サステナブル・リカバリー（持続可能な回復）：気候変動をはじめとする
環境・経済・健康などの社会的課題への解決を図りながら、コロナ禍から
経済を復興すること

■令和4年度 東京都予算の概要（国家予算と同規模）

区分	令和4年度 予算額	備考
予算総額	15.4兆円	例えば ノルウェー 20.4兆円 スウェーデン 14.3兆円
一般会計	7.8兆円	税金をもとに、福祉や防災対策 などの行政サービスに使うお財布
特別会計	5.8兆円	都営住宅の管理など、特定の目 的に使うお財布
公営企業会計	1.8兆円	上下水道など、自治体が経営す る企業のお財布

令和4年度予算の7つの柱

I 世界一安全・安心な都市

感染症に強く、激甚化・頻発化する台風・豪雨や、切迫する巨大地震から都民の命と暮らしが守られる都市を実現

- 新たな調整池の整備
- 帰宅困難者対策
オペレーションシステムの構築

II 自然と調和した 持続可能な都市

「ゼロエミッション東京」の実現に向け、社会の抜本的な変革を促していくとともに、水と緑あふれる都市を実現

- 災害にも強く健康にも資する断熱・太陽光住宅普及拡大事業
- ZEVの充電設備導入促進事業

III 世界から選ばれる 金融・経済・文化都市

世界中からヒト・モノ・カネ・情報が集まる経済・金融都市、スポーツ・芸術文化により賑わいを創出する都市を実現

- ファンドによる脱炭素化ベンチャー支援
- 東京2020大会1周年記念事業

IV 「人」が輝く、誰もがいきいきと 活躍できる共生社会の実現

高齢者が元気に暮らし、就労を希望する人が柔軟に働き、様々な人々が共に暮らす多様性に富んだ都市を実現

- 高齢者の健康づくりに資する
スマートウォッチ等デジタル機器活用事業
- ヤングケアラー対策

V 子供の笑顔があふれる都市

子供の笑顔と子供を産み育てたい人であふれ、すべての子供・若者が将来への希望を持ち、自ら伸び、育つ都市を実現

- 学童クラブ待機児童対策提案型事業
- 全小中高等学校、特別支援学校を対象としたスポーツ観戦など多様な体験活動の機会の確保

VI 「スマート東京」の実現 「シントセイ」の推進

5Gの活用などによる豊かで便利な暮らしの実現と、デジタルを梃子とした構造改革によりQOSを向上

- 都市の3Dデジタルマップ化による「バーチャル東京」の構築
- キャッシュレス決済に対応した
パーキング・チケット発給設備等の開発

VII 多摩・島しょの振興

多摩・島しょ地域の活力と魅力の向上、持続的発展に向け、地域の持つ資源や特色を活かして取組を推進

- 多摩産業交流センターの開設
- 5G活用による島しょ遠隔医療等の推進

コロナ対策を万全にする 医療提供体制等の構築に 予算3,610億円を計上しました

新型コロナウイルス感染症から都民の命と健康を守ため、医療提供体制等を強化・充実し、感染の収束に向けた取組を進めます。

※下記金額には、病院会計に計上している15億円を含みます。

項目	予算額	主な内容
検査体制	607億円	検査体制を整備するとともに、感染拡大の傾向が見られる場合の検査の無料化を実施
病床確保	1,578億円	必要な方が迅速に病床や臨時の医療施設等に受け入れられ、確実に入院につながる体制を整備
宿泊療養	832億円	保険・医療提供体制確保計画を踏まえ、宿泊療養施設を確保
自宅療養	235億円	安心して自宅療養生活を送れるよう、自宅療養者へのフォローアップ体制を確保
保健所	15億円	保健所業務の負担軽減や効率化などを推進
ワクチン接種	308億円	希望する全都民の確実な接種に向け、区市町村等と連携しワクチン接種を推進
区市町村	34億円	区市町村が地域の実情に応じて実施する取り組みを支援
合計	3,610億円	

コロナ対策経費のうち、医療提供体制等の強化・充実などに係る経費を当初予算に概ね3か月分計上します。さらに、直近の感染状況等に応じて、補正予算の編成等により対策を迅速に講じていきます。



東京都では、ドローンを活用した物流サービス等のビジネスモデル構築に向けて、民間企業を支援しています。

少子高齢化や人口減少の進行により労働人口の減少が見込まれる中、新たな技術

による業務の効率化が求められています。この度、メディセオ新東京ビル（江東区佐賀1丁目）から聖路加国際病院（中央区明石町）を往復する医薬品配送実証実験が行われました。

プロジェクト実施企業は、日本航空、KDDI、ウェザーニューズ、TerraDroneの4社。離発着以外は、操縦者が機体を目視せず

ドローンを活用した 医薬品配送プロジェクト

実証実験



有人地域で飛行させる「レベル4」（2022年度解禁）を見据えた実証実験です。医薬品卸メディセオの物流拠点から長さ9cm、重さ10gの液体模擬医薬品5個をドローンに搭載。高さ80mまで浮上し、隅田川上空を永代橋、中央大橋、佃大橋を横断し、約2km先の聖路加国際病院近くの隅田川テラスまで約10分で配

送しました。人口が集中する都心部において、JALが培ってきた運航ノウハウとKDDIの運航管理システムを活用し、安全管理には十分配慮。将来的には、緊急時・災害時におけるオンデマンド輸送や日常的に活用できる社会の実現を目指します。